

令和5年度いきいきちばっ子オリジナル弁当コンクール

千葉県教育委員会では、食に関する学習ノート「いきいきちばっ子」を用いた学習の一つに、子どもたちが自ら弁当づくりを体験することにより、食への関心を高め、食べることを見つめ直し、食生活の改善を図るために、小学校5・6年生を対象にオリジナル弁当コンクールを実施しています。

今年度のコンクールでは、個人の部で優秀賞5点、優良賞15点、佳作105点。団体の部では、優秀賞1点、優良賞3点、佳作5点が選ばれました。県のホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。

個人の部 優秀賞



松戸市立明小学校 6年
片岸 優楽里さん 「千葉の特産とことこ散歩」
優秀賞を受賞できて、とても嬉しいです。
とことこ散歩という題名は、千葉県内の各地域の食材を、ゆっくりとことこ散歩をするように見つけながらメニューを考え、一つのお弁当で各地域の特産品を味わえるように名付けました。
このお弁当を作ったことで、改めて千葉県内で作られている食材は豊富に分かり、もっと特産品を調べたいなと思いました。
これからもたくさんのお弁当を作って、家族や友達を笑顔にしていきたいです。



松戸市立東部小学校 6年
小泉 友莉香さん 「運動会ガンバレ!弁当」
ひさしぶりにお弁当を持って参加する弟の運動会、がんばる家族のため千葉の元気な野菜や肉をバランス良くたくさん使いました!
弟はまだ小さいので、手でも食べられ落としにくいように枝豆をハムやチーズと一緒に春巻きで包んだり、アスパラを肉で巻いたりして、苦手な野菜も食べられるように工夫しました。家族が笑顔になるように巻き寿司の顔もかんぴょうでにっこりさせました。とってもおいしいと喜んでくれたので、嬉しかったです。



習志野市立藤崎小学校 6年
湯浅 ふたばさん 「S産地を盛り上げ、D誰もがみんな、G元気づかるお弁当、sさあ召し上がり」
SDGsの点では、いつもは捨ててしまうことも多い、野菜の皮や椎茸の軸を無駄なく使い、食材をほとんど捨てることなく、おいしく作ることができました。また、地産地消の面ではスーパーに行き、千葉県産の食材を探し、多く使用しました。栄養・彩りを考え、食べやすいように工夫しました。
初めての挑戦でしたが、優秀賞を受賞できてとても嬉しかったです。



松戸市立総台小学校 6年
鍋島 広都音さん 「Enjoy Smile LunchBox -みんなでスマイル弁当-」
このお弁当は、家族みんなが笑顔で楽しくなるように作りました。
小松菜と豚肉炒めは、我が家のオリジナルです。家族みんなこの料理が好きなので最初に決め、他のメニューや彩りのバランスを考えました。
ケーキ寿司は、パプリカを花びらに見えるように切って、目でも楽しめるよう工夫しました。
このお弁当作りを通して、千葉にはたくさんの恵み豊かな食材があることを知り、これからもいっぱい食べて育っていききたいと思いました。



松戸市立東部小学校 6年
神野 礼奈さん 「『ドッジボール頑張っネ!』弁当」
念願の優秀賞を取ることができてとても嬉しいです。毎週暑い中ドッジボールの練習を頑張っている弟のために作りました。暑くて汗をいっぱいかくので塩分を取れるように塩昆布を混ぜておにぎりを作ったり、さわやかになるようにレモンを使ってサツマイモを煮たりしました。栄養面を考えて「まごわやさしい」を意識して作りました。これからもドッジボールの練習を頑張ってほしいと思います。

団体の部 優秀賞



市川市立八幡小学校 6年
伊藤 奈緒子さん 後藤 千香子さん
鈴木 ほの香さん 谷本 結凼さん
水落 るこさん

「食品ロスを減らせ! 千産千消弁当」
私たちは総合的な学習の時間に食品ロスについて学び、食品ロスを減らす取組をみんなの当たり前にするため、学級全員でグループごとに「もったいない弁当」を考えました。私たちは、「食材エコ・エネルギーエコ・買い物エコ」を意識し、切り方の工夫や手前どりなどで食材を大切にしました。また、千産千消も食品ロスやエネルギー削減に欠かせません。みなさんもこのお弁当のように、毎日の食事で食品ロスを意識してみてください。